【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【公開番号】特開2007-227191(P2007-227191A)
【公開日】平成19年9月6日(2007.9.6)
【年通号数】公開・登録公報2007-034
【出願番号】特願2006-47663(P2006-47663)
【国際特許分類】
Ｈ０５Ｂ　6/74　(2006.01)
Ｃ０４Ｂ　41/89　(2006.01)
Ｃ０４Ｂ　41/87　(2006.01)
Ｆ２４Ｃ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０５Ｂ　6/74　Ａ
Ｃ０４Ｂ　41/89　Ｃ
Ｃ０４Ｂ　41/87　Ａ
Ｆ２４Ｃ　7/02　５６１Ｃ
Ｆ２４Ｃ　7/02　５６１Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成20年1月25日(2008.1.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６９】
表３中の単位面積当たり四三酸化鉄の付着量［ｍｇ/ｃｍ^2］は次のようにして算出した。スラリー状の混合物の層の塗布回数を変えて四三酸化鉄の塗布量を変えるとともに、その塗布面積から単位面積当たりの四三酸化鉄の塗布量を算出し、単位面積当たりの四三酸化鉄の付着量を算出した。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７２】

【表３】

	単位面積当たり 四三酸化鉄の付着量 ［ｍｇ/ｃｍ^2］	加熱開始 １０秒後の温度 ［℃］	加熱開始 ２０秒後の温度 ［℃］
実施例７	２８０	２９０	４１５
実施例８	２５０	２６０	５６０
実施例９	２２０	３２２	４３３
実施例１０	１９０	２８５	４５０
実施例１１	１６０	２８０	４２３
実施例１２	１４０	２９０	４０３
実施例１３	１２０	３００	４１０
実施例１４	８０	３４５	４７３
実施例１５	５０	２１５	４７３
実施例１６	３０	１７０	３２３
実施例１７	１９	９１	２１０
実施例１８	１５	１０３	１６５
比較例１８	１０	３７	４７
比較例１９	５	２９	３４

表３に示す結果から、四三酸化鉄の付着量が１５ｍｇ／ｃｍ^{2}以上のとき、発熱量が高く、加熱開始１０秒後に発熱温度が１００℃程度以上に到達することがわかる。